



湾岸・アラビア半島地域ニュース

カタール：第21回アラブ首脳会議

(3月31日付現地各紙)

30日、ハマド・ビン・ジャーシム首相兼外相とムーサ・アラブ連盟事務総長は、第21回アラブ首脳会議後に共同記者会見を行い、首脳会議などに関して以下のように語った。

1. ハマド・ビン・ジャーシム首相兼外相

(1) 第21回アラブ首脳会議に関して

- ・今回の首脳会議での決定は、責任感の満ち溢れた前向きなものであった。
- ・各国首脳は、諸決議に前向きに対処した。アラブ諸国間の溝は埋められた。
- ・コモロ、ソマリア及びスーダンに対する支援も、アラブの団結を反映するもの。
- ・各国代表は、アラブ諸国間の不和解消について、チュニス・サミットで署名された誓約の補足文書に署名した。

(2) カタール・エジプト関係等

- ・カタールは、同胞的な友好国家との関係を非常に重視している。我々は、エジプトを含む全ての国家に敬意を払っている。エジプトは、カタールが敬意を払うアラブの大国の一つである。ただエジプトとの間には見解の一部に相違があり、友好的な形で解決されるには時間を要するかもしれない。
- ・最善のビジョンに到達するためには、他者との見解を聞く必要がある。最善の見解は、カタールからもたらされるかもしれないし、他国からかもしれない。

2. ムーサ・アラブ連盟事務総長

- ・今回の首脳会議はサウジとリビアとの間の争いを終わらせることに成功し、より好ましいアラブ諸国関係等に向けて地を固めた。
- ・今回首脳会談において、イスラエルとの和平プロセスに時間的枠組を設定する合意がなされた。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799